

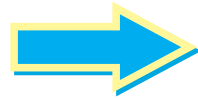
●議会中の議員活動を報告します！！

—桑名製作所北側の農業用水路老朽化による修繕完了です—

地元より要望を受け老朽化した農業用水路を修繕することができました。



修繕前



修繕完了写真

—3月7日桑名市防災拠点施設で県合同の運用訓練の実施です—

施設運用マニュアルの点検や関係する防災計画の検証のため関連企業とともに運用訓練が開催されました。この度、移動型独立電源「エヌキューブ」が採用され今回の訓練では、災害後に医療拠点を開設するという想定で行われ、「エヌキューブ」の風力や太陽光パネルを展開し、発電したエネルギーで電動ポンプに電力供給を行い、エアテントを約3分で設置しました。今回の桑名市が採用したタイプは12フィートと10フィートの「エヌキューブ」を連結しており、12フィートの「エヌキューブ」は太陽光パネルで発電・蓄電することで施設内の設備に電力供給ができ、エアコンを24時間稼働させることができます。10フィートの「エヌキューブ」は風車と太陽光パネルを搭載し、同じく電力供給できるほか、12フィートから切り離して、近隣の被災地などにトラックで移動させることができます。



—陽だまりの丘「ほたるの里」水路清掃と幼虫放流でした—

2月27日に水路清掃を実施し、3月13日・14日と幼虫放流を実施しました。今年は昨年と違い約7,000頭の幼虫を確認することができました。3月後半ぐらいから幼虫の水路での上陸が確認されております。ゲンジボタルがどれだけ舞うか楽しみです。

以上



あい きょう しげ ゆき
愛敬重之 後援会
だより

2021
4月19日
No. 39
65

発行責任者 後援会会長
伊藤久志

愛敬重之
公式HP
http://www.aikyo-kuwana.net/



日頃の議員活動ではご協力ありがとうございます。桑名市ではこれまで、新型コロナウイルス感染症への対応として、迅速かつ機動的に対策を講じています。中でも、ワクチン接種について、最優先で取り組みを進めています。1月7日には、コロナウイルス接種課を立ち上げ、3月1日からは、ワクチン接種に関するコールセンターを開設しました。

ワクチン接種はまず3月11日から医療従事者の皆さんへの優先接種が始まりました。4月以降については、三重県から1箱で975人に対する接種が可能となるワクチンの箱が4月12日の週と26日の週にそれぞれ1箱ずつ配布される予定となっていることから、クラスター抑止を優先する観点から、まず、高齢者施設から接種を開始します。65歳以上の高齢者の方に対する接種券の発送については、4月中旬以降を予定しています。国からワクチンが届き次第、速やかに接種できるよう、万全の体制を整えております。

令和3年度の新年度一般会計当初予算については、『シンカを続ける 持続可能なまちづくり』として、令和2年度対比2.4%増の520.3億円が可決されました。

今回の後援会だよりでは、皆さんも関心をもっているかと思いますが、大山田パーキングスマートICとコロナウイルスワクチン接種『桑名モデル』をご紹介します、その後、議員活動報告をさせていただきます。

大山田パーキングスマートインターチェンジ化事業始まる！



(カインズ物流センター「カインズ桑名センター」)



多度地域南部およびインターチェンジ周辺の産業誘導ゾーンへの企業立地をサポートする広域交通網の充実、都市内幹線道路の整備を図る目的で令和3年度予算は600万円(スマートインターチェンジ関連調査等業務委託費)の予算が計上されました。事業の内容については、大山田PAの周辺道路における現状調査などの広域的検討をおこない、スマートインターチェンジの必要性を確認し、国による新規事業化の推進を図る。

『期待される整備効果』

- ① 産業活動の支援：産業誘導ゾーンへのアクセスにおいて、**道路走行環境の改善**が図られるとともに、**既存集落を通過する交通の減少**が期待できる。また都市計画道路桑北部東員線整備後には、**産業誘導ゾーンへのアクセス所要時間が短縮**される。
- ② 通勤・通学の利便性の向上：陽だまりの丘、大山田団地といった大規模な住宅団地からICまでの距離が短縮されることにより、**名古屋方面への通勤・通学所要時間の短縮**が期待できる。

- ③ 防災機能の向上1：国道 258 号、主要地方道四日市多度線は洪水時に浸水する区間が存在する。(仮称)大山田 IC の設置により、産業誘導ゾーンと高速道路を結ぶ新たなネットワークができることにより、災害発生時におけるリダンダンシーが確保され、企業活動の継続性確保が期待される。
- ④ 防災機能の向上2：防災拠点となる多度地区市民センターや、星見ヶ丘に完成しました、新たな防災拠点施設へのアクセスについて、浸水の恐れのない新たなバイパスが確保され、物資輸送経路や避難経路の選択肢の拡がりが期待できる。

コロナウイルス感染症対策『桑名市モデル』のワクチン接種！



高齢者向けの新型コロナウイルス感染症に係る 予防接種のためのワクチンの配分について

= 桑名市モデル = とは？

「高齢者はかかりつけ医で個別接種」

■接種数の想定

- ・65歳以上高齢者3万7,500人、接種率60%、2回接種で4.5万回の接種が必要。
- ・週当たり3,750回接種することで、12週間で2回の接種(4.5万回)が完了。

■接種場所 市内約70か所の医療機関

■予約方法 直接医療機関へ電話で申し込み

■高齢者施設等入所者への対応

- ・特別養護老人ホーム(5施設)、介護老人保健施設(7施設)等、当該施設の接種については、嘱託医・施設医等に依頼。
- ・その他医師の関与がない施設等は、市が要請した医師が施設を回り、ワクチン接種を行う。(巡回接種：個別接種の一部)

「桑名市モデル」のメリットは？

安心 近い 短い に加え

- 会場、医師、人員の確保の必要がない
- その方の持病やアレルギーを把握しているので、対応が早い
- 医療機関で他の接種歴が把握できる
- 密になりにくく、また集団接種場所よりも快適

コロナワクチン接種スケジュール

3月	市役所内にワクチン分配室を設置
4月12日の週	高齢者向けワクチンの最初の1箱(975回接種分)が市に届く ※4月26日の週も1箱届く
4月21日以降	高齢者施設(介護老人保健施設)から接種開始 ※接種施設は調整中
4月中旬以降	高齢者の方に接種券を送付
5月中旬以降	高齢者向け優先接種が開始
6月以降	その他の者(高齢者以外)に接種券を送付
7月以降	基礎疾患を有する者、高齢者施設等の従事者の優先接種を開始。その後、ワクチンの供給量を踏まえて、その他の方へ順次接種を開始

*医療従事者向け優先接種については4月中、および消防職員も4/25からワクチン接種を開始します。

4月に国から三重県へ出荷される 高齢者向けワクチン

令和3年3月4日付け医保第06-908号にて、三重県は1箱で975人に対する接種が可能となるワクチンの箱が4月5日の週から26日の週まで計51箱配布される予定となっています。クラスター抑止を優先する観点から、まず、高齢者施設から接種を開始します。65歳以上の高齢者の方に対する接種券の発送については、4月中旬以降を予定しています。国からワクチンが届き次第、速やかに接種できるよう、万全の体制を整えております。

時期	供給量	備考
4月5日の週	2箱	接種開始は4月12日
4月12日の週	10箱	
4月19日の週	10箱	
4月26日の週	29箱	予定です

総務安全予算特別委員会での質疑と最近の議員活動報告です

—防災関連での質疑—

★戸別受信機整備費

愛敬：市では、コミュニティFM、広域FMの両方使いでいくのか

防災危機管理課：現在どちらを使うのか、最終のつめをおこなっているところです。それに応じた戸別受信機購入することになります。どちらもメリット・デメリットがあるが、まず市民の皆様には正確な情報を伝えることを一番に考えどちらかのFM決めていきたい。

愛敬：令和5年度の受信機の配布について

防災危機管理課：令和3年度にどの程度の方にニーズがあるのか調査をする。実際放送が始まるのは、令和5年度からなので、令和3年度にラジオを設計から製造までおこなってもらい順次配布となる。令和5年度は足りない分を配布する形となる。

愛敬：使用料3,000円とは

防災危機管理課：戸別受信機は無償で提供ではないので、貸与に対する負担金である。

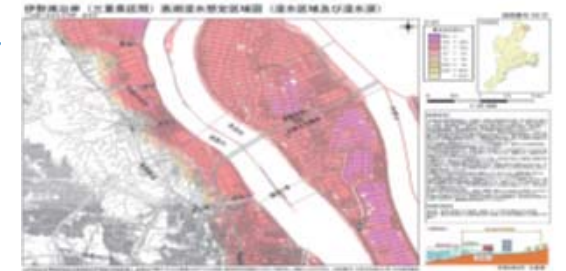
愛敬：ハザードマップでリスクが高いとされる地域も市民が購入対象者でしょうか。

防災危機管理課：購入を希望する市民を購入対象者としている。

★保存版ハザードマップ作成費

愛敬：広範囲な特別号カラー版40ページ程度で配布となる予定だが、現段階で見やすくするような工夫など考えているのか

防災危機管理課：見開きを使えばA3サイズで見ただけのことや、例えば洪水ハザードマップであれば、河川ごとにすべて分けて掲載する予定。津波ハザードマップであれば、市内全域の図でまず示し、「この部分は何ページをご覧ください。」と拡大したページを見てもらいたいような工夫をし、少しでも市民に見やすいハザードマップとしていきたい。



★津波避難施設整備費

愛敬：事業者からの技術提案などの内容は

防災危機管理課：プレストレスト・コンクリート構造の建物になり、1層目が5m程度、2層目が8m程度、3層目が11m程度であり、3層目は高潮対応となる。大雨であれば2層目、3層目の間が使えるような形となる。スロープを2か所、階段も2か所あり、幅も1.2mと1.5mと提案もあった。収容人数は、荷重的には1,500名が可能となるが、トイレや防災倉庫も設置されるためその分は減少する。地盤が軟弱のため、提案では、80cm径の杭を地下43m、14本打ち込んでこの施設を支える形となる。実際にはこの4月以降、ボーリング調査で再度地質調査をおこない、最終確認したうえで基本設計、実施設計と進める。



—総務関連—

★PCB廃棄物処理事業費

愛敬：昨年より増額の理由は

総務課：来年度は3カ年計画の最終年度にあたることもあり、最終処分量の増額を見込み、増額計上した。

—スポーツ関連—

★東京オリンピック・パラリンピック関連経費

愛敬：コロナウイルス感染症の影響で、多くの外国選手団は事前キャンプをせず、直接選手村へ入ることになるのではないと思うが、この予算の用途は。

スポーツ振興室：桑名市、海津市、愛西市の3市で構成している事前キャンプ誘致委員会への負担金として50万円を計上している。誘致委員会事務局からは、事前キャンプの問い合わせがあると聞いているため、引き続き、動向を注視し、感染症対策にも配慮したうえで誘致活動を実施していきたい。